

シンポジウム 東京の旧石器

ー 3万年前、環境と人々の暮らしー

日時 2018年9月1日(土) 12時50分～16時30分

会場 東京都立埋蔵文化財調査センター2階会議室

対象 考古学に興味関心のある一般の方と考古学研究者

参加料無料

事前申込不要

定員100名

先着順

旧石器時代はアフリカに生まれた現生人類がアフリカから世界中に拡散し日本列島に辿り着いた時代です。東京の地にも約3万5千年前に人類が現われたことがわかっています。その頃、後期旧石器時代前半期の人類はどのように暮らし、環境に適応したのでしょうか。東京都埋蔵文化財センターのスタッフが、東京の遺跡から最新の研究成果を通してこの課題に取り組みます。

タイムスケジュール

12:20 開場

12:50 開会 「趣旨説明」伊藤 健

13:05 報告①「前半期の立地・地形・環境」山田和史

13:35 報告②「前半期石器群から見た植物質食料利用の可能性」尾田識好

14:05 報告③「前半期石器群の狩猟具と動物相」堀 恭介

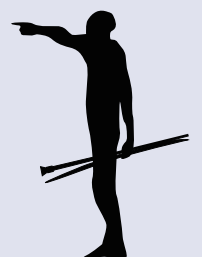
14:35 休憩

14:55 報告④「前半期石器群の使用石材と移動範囲」佐藤悠登

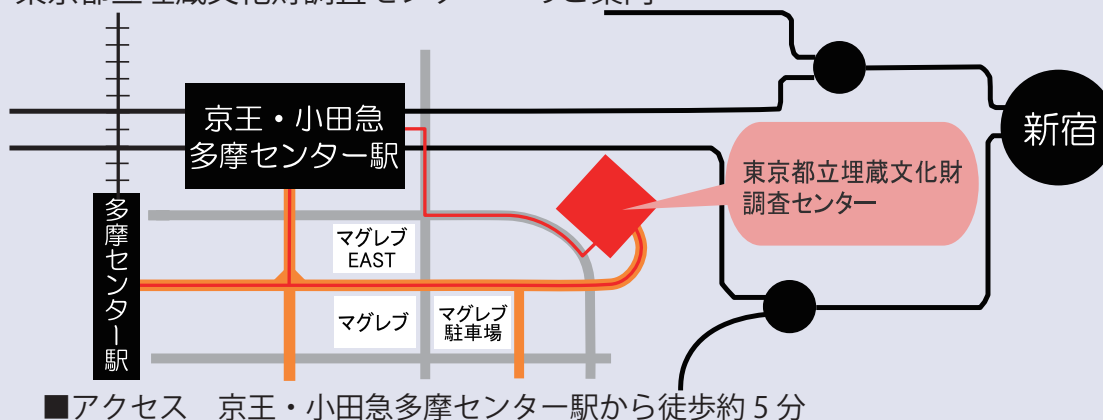
15:25 報告⑤「前半期石器群の石器製作技術」塚田清啓

15:55 討論

16:30 閉会



東京都立埋蔵文化財調査センターへのご案内



主催 公益財団法人東京都スポーツ文化事業団・府中市郷土の森博物館運営グループ
(東京都埋蔵文化財センター・府中市郷土の森博物館共同事業)

問合せ先 東京都埋蔵文化財センター 調査研究部 伊藤 (042-374-8044)